

<オリエンテーション>**A. テーマ：キリスト教思想研究入門——近代から現代あるいはポストモダンへ****B. 目的**

この特殊講義は、すでに系共通科目「キリスト教教学講義」を受講し、キリスト教思想研究に関心のある学部生を対象に行われる。キリスト教思想研究を目指す際に身につけておくべき事柄について、またいかなるテーマをどのように取り上げるのかについて、解説を行う。

C. 内容

本講義では、前期後期ともに、まず、10 回程度の講義を行い、残り 5 回の授業において、受講者の研究発表を実施する。キリスト教教学専修学部生（研究生も含めて）に対しては、この研究発表（一回の授業で、一人あるいは二人）によって、卒論指導を行う。

今年度は、近現代キリスト教思想の主要なテーマについて考察を行うことによって、現代のキリスト教思想の主要動向の理解をめざしたい。前期は、19 世紀から 20 世紀前半のキリスト教思想から、近代聖書学、自由主義神学（シュライアーマハー、リッチェル、ハルナック、トレルチ）、キリスト教社会主義・宗教社会主義、弁証法神学（バルト、ブルトマン）、ティリッヒなどを取り上げる。

後期は、20 世紀後半以降のキリスト教思想から、解釈学的神学（ポスト・ブルトマン、リクール、ヴァッティモ）、政治神学（シュミット、モルトマン、アガンベン、ジジェク）、解放の神学（ラテン・アメリカの解放の神学、フェミニスト神学、黒人神学、民衆の神学、ピエリス）、科学論の神学（パネンベルク、プロセス神学）、宗教の神学（ヒック）、エコロジー神学などを論じる。

D. 確認事項

受講者には、前期と後期に、一回ずつの研究発表が求められる（一部、レポートに代えることも可能）。成績評価は、この研究発表によって総合的に行う。

受講生には、常識や先入観を批判的に問い直す態度と積極的な授業参加（参考文献による復習を含め）を期待したい。質問は、オフィスアワー（木 2・金 3）を利用するか、メール（Sadamichi.Ashina@gmail.com）で行うこと。

E. 授業スケジュール

前期：現代キリスト教思想研究 1 —— 近代から現代へ

後期：現代キリスト教思想研究 2 —— 現代あるいはポストモダン

オリエンテーション+研究発表	10/3	
1. 解釈学的神学と現代思想	10/10	
2. 政治神学 1 —— シュミットとモルトマン	10/17	
3. 政治神学 2 —— アガンベン	10/24	
4. 政治神学 3 —— ジジェク	10/31	
5. 解放の神学 1 —— フェミニスト神学 1	11/7	
6. 解放の神学 2 —— フェミニスト神学 2	11/14	
7. 研究発表	11/21	
8. 研究発表	11/28	
9. 研究発表	12/5	（予備：1/9）
10. 解放の神学 3 —— 黒人神学	12/12	
11. 解放の神学 4 —— アジア	12/19	12/26 は休講（東京出張）
12. 宗教の神学とヒック	1/16	
13. エコロジーの神学	1/23	